

九州・沖縄地区ニュース

No.114 2016.3

九州・沖縄地区会議の今年度および今後の活動について

日本学術会議 九州・沖縄地区 代表幹事 古谷野 潔

日本学術会議地区会議運営要項には、「地区会議は、日本学術会議の諸活動を地区内の科学者等に周知徹底し、及び日本学術会議に対する意見、要望を汲み上げて日本学術会議と科学者との意思疎通を図るとともに、地域社会の学術の振興に寄与することを目的とする。」と記されています。

九州・沖縄地区会議には、現在、会員11名、連携会員101名が在籍しています。第23期がスタートした平成26年10月に運営協議会を開催し、地区会議の活性化を目指して、以下のような行動目標を掲げました。

- ・日本学術会議執行部に地区活動の活発化および地区の重視を要望する。
- ・地区の活動に関する情報を、地区所属の会員および連携会員に周知する。
- ・地区所属の会員・連携会員の名簿を地区所属の会員・連携会員に配布する。
- ・地区所属会員は、科学者懇談会・学術講演会への積極的な参加を心がける。
- ・地区所属会員は、科学者懇談会における懇談に積極的に参加する。
- ・科学者懇談会・学術講演会への当該県所属の連携会員の参加を呼びかける。
- ・2回の科学者懇談会・学術講演会の開催時期を春と秋に分散する。

この目標に従い、科学者懇談会・学術講演会を平成28年度から春・秋2回開催とすることとし、平成27年度は、移行作業のため福岡市での1回のみで開催としました。

福岡市での科学者懇談会・学術講演会は、向井千秋副会長をお迎えし、平成27年9月8日に九州大学伊都キャンパスで開催されました。科学者懇談会には久保千春九州大学総長を始め26名が参加されましたが、そのうち会員・連携会員合わせて21名の参加が得られ、活発な意見交換がなされました。学術講演会は、「水素元年ー新しいエネルギー社会の構築に向けてー」をテーマに開催され、大学関係者の他一般市民も含め150名以上の参加があり、盛会裏に終了しました。

日本学術会議の活動の多くは、分野別委員会などの専門分野という縦糸で結ばれていますが、異なる専門分野のメンバーが所属する地区会議をうまく活用することで「横串」としての役目を果たすことができるのではないかと思います。会員や連携会員の多くは、それぞれ専門分野が異なりますので、同じ大学に所属していてもほとんど顔を合わせる機会もなく、意見交換する機会も少ないのが実情ではない

でしょうか。地区における科学者懇談会を、そうした会員・連携会員の顔合わせの場、そして懇談の場として活用していただく場にしていきたいと考えています。

今後、地区会議を更に活性化していきたいと思っておりますので、会員、連携会員の皆様には、地区会議の活動への積極的なご参加をお願いいたします。

【科学者懇談会の開催】

平成27年度、九州・沖縄地区会議では、平成27年9月に九州大学伊都キャンパス（福岡市）において科学者懇談会を実施いたしました。

例年、九州・沖縄地区会議が主催する科学者懇談会においては、その時々の学術を取り巻く環境が変わる中、日本学術会議の会員と、各地域にて研究活動を行っている連携会員及び研究機関に所属する研究者との間でこの機会に活発な意見が交わされております。

この度の科学者懇談会では、向井副会長にお越しいただき、日本学術会議の活動等についてご報告いただいた後、日本学術会議への要望やあり方などについて活発な意見交換が行われました。

平成27年度 科学者懇談会

日時： 平成27年9月8日（火） 11:00～13:00

場所： 九州大学伊都キャンパス 伊都ゲストハウス

出席者：

日本学術会議	副会長	向井 千秋
	九州・沖縄地区会議代表幹事	古谷野 潔
	九州・沖縄地区会議会員	小松 利光
	九州・沖縄地区会議連携会員	落合 英俊
	九州・沖縄地区会議連携会員	河野 正憲
	九州・沖縄地区会議連携会員	水田 祥代
	九州・沖縄地区会議連携会員	鈴木 義則
	九州・沖縄地区会議連携会員	宮崎 則幸
九州大学	総長	久保 千春
	理事・副学長	井上 和秀
	理事・副学長（会員）	安浦 寛人
	理事・副学長（会員）	青木 玲子
	先導物質化学研究所長（会員）	高原 淳
	大学院医学研究院教授（会員）	前原 喜彦
	大学院理学研究院教授（会員）	巖佐 庸
	大学院システム情報科学研究院教授（連携会員）	荒木 啓二郎

	マス・フォア・インダストリ研究所教授（連携会員）	小磯 深幸
	大学院理学研究院教授（連携会員）	酒井 健
	副学長、生体防御医学研究所長（連携会員）	佐々木 裕之
	大学院数理学研究院教授（連携会員）	杉山 由恵
	大学院工学研究院教授（連携会員）	塚原 健一
	大学院工学研究院教授（連携会員）	津崎 兼彰
	大学院比較社会文化研究院教授（連携会員）	吉岡 斉
	大学院工学研究院教授	佐々木 一成
中村学園大学	学長	甲斐 諭
産業医科大学	副学長	柳原 延章



九州大学で開催した科学者懇談会の様子

【学術講演会の開催】

「水素元年 ー新しいエネルギー社会の構築に向けてー」 九州大学

日 時 : 平成27年9月8日 (火) 14:00~17:00

場 所 : 九州大学伊都キャンパス 稲盛財団記念館稲盛ホール

平成27年9月8日(火)、九州大学伊都キャンパス(福岡市)において、日本学術会議九州・沖縄地区会議主催、九州大学共催で、「水素元年 ー新しいエネルギー社会の構築に向けてー」をテーマにした学術講演会を開催しました。

始めに司会を務める九州大学安浦理事・副学長から講演会の趣旨説明が行われ、続いて日本学術会議 向井副会長及び九州大学 久保総長のご挨拶の後、九州大学佐々木教授、吉岡教授、トヨタ自動車株式会社広瀬プロフェッショナルパートナー兼九州大学招へい教授及び東京大学堂免教授の4名の先生方に、テーマに沿って様々な視点から講演を行っていただきました。

会場には、大学関係者の他一般市民も含め150名以上の参加があり、各講演後には活発な質疑応答が行われるなど、講演会は盛会裏に終了しました。

【各講演テーマ】

『水素エネルギーの現状と将来展望』

九州大学大学院工学研究院教授 佐々木 一成

『持続可能な社会に向けた新たな挑戦 燃料電池車の現状と未来』

トヨタ自動車株式会社技術統括部プロフェッショナルパートナー、
九州大学招へい教授 広瀬 雄彦

『太陽エネルギーと水からの水素製造』

東京大学大学院工学系研究科教授 堂免 一成

『水素エネルギーの発展にとって克服すべき課題』

九州大学大学院比較社会文化研究院教授 吉岡 斉



九州大学で開催した学術講演会の様子

講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

50代男性

水素エネルギーにかける人々の思いが伝わり
大変有意義な講演でした。

60代男性

太陽エネルギーや光触媒による水からの水素製造
の最新研究に触れることができてよかった。

40代女性

水素エネルギーをテーマに掲げながらも「結論・概要」「FCV・技術・経済」「太陽光からの製造」
「批判的論評」と賛否含め幅広く取り揃えられたのが、議論・思考の契機として良い姿勢と感じた。

【お知らせ】

日本学術会 九州・沖縄地区会議では、平成28年度、以下のとおり学術講演会の開催を予定しております。

詳細につきましては、決定次第お知らせいたします。

日時： 2016年7月22日（金）午後

場所： 宮崎市内（未定）

日時： 2016年度 下半期（未定）

場所： 沖縄県内（未定）

日本学術会議 九州・沖縄地区会議

会員一覧

青木 玲子（第一部所属 九州大学 理事・副学長）

秋葉 澄伯（第二部所属 鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科疫学・予防医学分野 教授）

巖佐 庸（第二部所属 九州大学 大学院理学研究院 教授）

尾家 祐二（第三部所属 九州工業大学 理事・副学長）

小松 利光（第三部所属 九州大学 名誉教授）

古谷野 潔（第二部所属 九州大学 大学院歯学研究院 教授）

高原 淳（第三部所属 九州大学 先端物質化学研究所長・主幹教授）

土井 政和（第一部所属 九州大学 大学院法学研究院 教授）

前原 喜彦（第二部所属 九州大学 大学院医学研究院消化器・総合外科 教授）

安浦 寛人（第三部所属 九州大学 理事・副学長）

山下 俊一（第二部所属 長崎大学 理事・副学長） ※五十音順

発行 2016年3月

編集 日本学会議 九州・沖縄地区会議

日本学会議 九州・沖縄地区会議事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学企画部学術研究推進課内

電話 092-802-2321 (ダイヤルイン)

FAX 092-802-2391

E-mail kissomu@jimu.kyushu-u.ac.jp

